

MOVEit® Transfer API

MOVEit Transfer と MOVEit Cloud 用の API インタフェース・オプション

データシート

機能

- MOVEit サービスおよび管理機能のサードパーティーによる管理
- MOVEit Transfer API は、Java クラス、Windows .NET コンポーネント、または REST API として使用可能
- SSH キーと SSL 証明書の管理が可能
- API インタフェースとその API クライアント間のすべてのファイル転送は、自動整合性チェックと自動転送の再試行および再開が可能

MOVEit API インタフェースとクライアントは、サードパーティーのプログラム (Web アプリケーションを含む) から、MOVEit Transfer と MOVEit Cloud File Transfer の様々なサービスと管理機能へのアクセスを提供します。

MOVEit サービスおよび管理機能のサードパーティーによるコントロールには、MOVEit Transfer API の Java クラス、MOVEit Transfer API の Windows .NET コンポーネント、または MOVEit REST API が必要です。API Java クラスには、メインフレーム JCL、Unix/Linux シェルスクリプト、そして Cron などのローカルオペレーティングシステムスケジューラで使用するための、プリコンパイルされた FTP のようなコマンドライン・クライアント・インタフェースが付属しています。次のようなことが可能です。

- ファイル、メッセージ、Web フォームの投稿を作成、転送、削除
- ユーザー、フォルダ、アクセス許可を作成、管理、削除
- ファイル、メッセージ、Web フォームの投稿を安全に保存 (REST API では不可)
- 事前定義レポートを実行、カスタムレポートを作成して実行
- 組み込みの MOVEit ユーザーデータベースを利用
- 詳細なステータスを獲得、上記に関するデータのレポート

API .NET コンポーネントは、ASP.NET、ASP、C++、SQL Server、Office、C#、VB、または VBScript で使用できます。

API インタフェースを介した MOVEit Transfer、MOVEit Cloud へのアクセスには、有効なユーザー名と1つ以上の要素（パスワード、HTTPS クライアント証明書、および/または IP アドレス）による事前の認証が必要です。

API インタフェースとその API クライアント間のすべての通信は、単一のファイアウォールポート（443）のみを使用する、256ビット SSL 暗号化された、ファイアウォール対応 HTTPS プロトコルによって保護されています。API インタフェースとその API クライアントとの間のすべてのファイル転送には、SHA1 自動整合性チェックが適用され、ファイルの否認防止と保証付き配信のために、自動転送の再試行と再開が行われます。

MOVEit Transfer API では SSH キーと SSL 証明書の管理も可能です。SSH キーおよび SSL 証明書管理に .NET または Java API を使用できます。SSH キーと SSL 証明書は自動的にインポートでき、追加、削除、ユーザーアカウントにリストすることも可能です。

MOVEit Transfer API インタフェースは、インタフェースと MOVEit API Java クラス、.NET コンポーネント、およびそれらのコマンドライン・インタフェースを無制限に使用できるようにする、個別に価格設定されたライセンス・オプションです。API インタフェースは、個別のライセンスキーによって有効になります。

API インタフェースは、MOVEit Transfer のオプションとして使用可能で、MOVEit Cloud を使用したクラウド展開には組み込まれています。

MOVEit REST API の詳細については、[データシート](#)を参照してください。



無料試用版をお試しください:

www.ipswitch.com/jp/forms/free-trials/moveit-transfer

プログレス・ソフトウェア・ジャパン株式会社
〒106-0047
東京都港区南麻布4-11-22 南麻布T&Fビル
www.ipswitch.com/jp
sales_japan-ipswitch@progress.com